



【S-1+ドセタキセル+ハーセプチン療法について】



様 コース目

☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強が残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
薬の名前	作用	めやすの時間																						
デキサート注	吐き気止めです	15分	<div style="position: relative; height: 100px;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 20%; border: 1px solid black; padding: 2px;">2回目から投与時間が短くなる場合があります。</div> </div>																					
ハーセプチン注	抗がん剤です	90分																						
ドセタキセル注	抗がん剤です	60分																						
S-1錠	抗がん剤です	朝・夕 内服																						

☺ 治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	過敏症	痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																					
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																					
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水のような便が出るときはお知らせ下さい。																					
	色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																					
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配すぎないでください。																					
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																					



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。



|